

## 2020JR総連春闘を『新生JR東労組運動』で たたかい抜く大宮地本見解

職場から  
の創造的  
なたかいで、

20JR  
総連春闘を本部と  
共に推し進めるぞ！

### 2020 JR 総連春闘を『新生 JR 東労組運動』でたたかい抜く大宮地本見解

18 春闘以降、一部指導部が提起する運動を上から押し付けるのではなく、組合員の声から運動を創るために奮闘してきました。私たちはそのたたかいを、あらためて明確にするため『新生 JR 東労組運動宣言』を第 46 回定期中央委員会で満場一致で確認しました。その一方で、18 春闘大敗北を受け入れず本部や一部地方本部をウソで批判し私たちの運動を妨害してきた人たちは、20 春闘直前に無責任にも新たな組合を立ち上げ分裂しました。これは明らかに組織破壊です。このような状況の中で取り組む 20 春闘は、私たちの運動づくりが問われます。全組合員が参加し、職場からたたかいを積み上げる事で要求の満額獲得に向けて取り組みます。しかし現状は「春闘終焉」と言われ、経験年数で賃金が増加する「年功賃金」が壊されようとしています。その中で、安全で生涯に渡り安心して働く職場環境を守らなければなりません。職場から議論を巻き起こし全組合員の取り組みを通じて、JR 東労組を実感できるたたかいをすべての職場から創り出しましょう。

大宮地本は、この間春闘集会を最大限の組合員の参加で創り出していました。18 春闘までは、毎年 1,500 名を超える組合員が結集し本部交渉を押し上げました。組織が縮小する中でも昨年は 600 名を大きく超える組合員が結集し、組織の力を実感することができました。そして今年は、JR 東労組が結成された 3 月 3 日に春闘集会（仮称）の開催を予定していましたが、新型コロナウィルスが爆発的に拡大している影響を踏まえ、苦渋の選択となりましたが中止を判断しました。「春闘集会だけは、何が何でも参加しないといけない」「年休を入れて行く」という職場の声がある中で苦しい判断となりましたが、参加者の健康面を第一に考えて中止とさせていただきました。申し訳ありません。現在は各支部や分会単位で春闘集会が計画され、組合員の最大結集を目指して取り組んでいます。なぜなら、賃上げや労働条件の改善を勝ち取れるのは労使の力関係に基づく議論以外にないからです。この社会において労働組合の力が弱くなれば、会社は労働者を奴隸のように扱うのは流行語にもなった「ブラック企業」などの現実を見れば明らかです。

今あらためて、春闘と合わせて皆さんに考えて欲しいのは、私たちが働く職場も「ブラック企業」と言われるような職場になっていないかという事です。安全を第一に考えた判断や、生理現象で列車を止めたことに対する賃金カットを是正させてきたのは私たち JR 東労組です。また職場には、1 分から超勤をつける風土を定着させてきました。そしてチームワークで安全を守るため職場で働く人たちをライバルとしない、競争ではなく共存で安全で明るく何でも言い合える職場風土を私たちは創ってきました。今そのような職場になっているでしょうか。労働組合の組織率が低下する中でパワハラや不当労働行為が横行し、物言えぬ職場がつくられようとしています。大宮地本は、この間パワハラや不当労働行為の団体交渉を繰り返し行っていますが、まだまだ職場にはこのような事象が隠れていると考えています。もう一度 JR 東労組が力をつけ、間違っている事に対しては絶対に許さずにたたかっていかなければなりません。そのためにも 2020 JR 総連春闘を『新生 JR 東労組運動』として取り組み、勝利する事で組織への再結集を実現し、安全で働きやすい何でも言い合える明るい職場づくりを目指して、全組合員と共に奮闘していきましょう！

全組合員で見解を読み合わせよう！

2020 年 2 月 26 日 JR 東労組大宮地方本部

職場からの『新生JR東労組運動』で、20春闘勝利と  
安全で働きやすい職場を創り、  
東労組へ再結集させるたたかいを推し進めるぞ！